

コモنز30ファンド コモンズレター

追加型投信 / 内外 / 株式



渋澤と伊井の想い

【継続は力なり】

こんにちは、渋澤健です。

2021年が既に半分も過ぎてしまいましたね。コロナ禍から解放される日常が待ち遠しいですが、時はかなり早く通り過ぎて行きます。

長期投資は遠い未来を見ていると感じる一方、振り返るとあっという間に過ぎている。長期投資家であるからこそ、一日一日を大事に過ごしたいものです。

さて、6月のコモنز30ファンドの基準価額は史上高値圏で推移しました。

コモنز30ファンドで2009年1月の設定来から投資しているエーザイと米バイオジェンが共同開発したアルツハイマー病治療薬の「アデュカヌマブ」が米FDA（食品医薬品局）で承認されたというニュースで、月末でエーザイの株価は先月末比で48%も上昇したことが大きく貢献しました。

ただ、同社に投資した当時の主力製品であったアルツハイマー病型認知症薬「アリセプト」の特許切れにより、2011年から2014年までの業績はかなり苦戦しました。

しかしこの間も「お仲間（ファンド受益者）」の皆様から託していただいた積立投資の資金を財源に、コモنز30ファンドはエーザイの株式を安値圏でコツコツと買い続けることができたのは、同社の「見えない価値」を可視化するための「対話」があったからです。

このエピソードについては、8月にエーザイが発行する予定の「価値創造レポート」で柳良平CFOと対談させていただいておりますので発行された際には是非ともご覧ください。

10月中旬には、その柳CFOを「コモنز30塾」にお招きし、更にお話を詳しくお伺いする予定です。

加えてご覧いただきたいのが、6月末に発表した今年3月末時点の「共通KPI」およびコモنزの「独自指標」です。

<https://www.common30.jp/company/kpi.php>

運用損益がプラスの（直販の）顧客比率は99.5%でした。昨年の3月末はコロナ・ショックとの打撃を受けた市場環境だったので同顧客比率は56.1%。1年かけて、大きく運用パフォーマンスが回復したことが明白です。

後から見たら、何でも簡単に見えますが、やはり「ショック」のときは逃げて隠れるより、コツコツと積み立てて買い続けることが大切であることがわかりますね。

また、5年以上積立を継続されているお仲間の運用損益がプラスの比率は99.9%、コロナショック真っ只中の昨年3月末でも92.1%でした。

これこそ、継続は力なり、と言えるでしょう。

コモنز投信取締役会長兼ESG最高責任者 渋澤 健





基準価額の推移

2009年1月16日 ~ 2021年6月30日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.078%（消費税込）です。



運用実績

2021年6月30日時点

基準価額

38,200 円

(前月末比)

+1,316 円 (3.57%)

純資産総額

283.1 億円

(前月末比)

+13.1億円 (4.89%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	3.57%
3ヵ月	3.35%
6ヵ月	13.61%
1年	36.46%
3年	31.31%
5年	100.97%
10年	219.99%
設定来	317.01%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2017年1月	240円
2018年1月	250円
2019年1月	0円
2020年1月	250円
2021年1月	300円
設定来合計	1,910円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの状況

ポートフォリオの構成別比率

株式	95.7%
その他	4.3%

未来コンセプト別比率

生活ソリューション	16.1%
ウェルネス	15.4%
精密テクノロジー	13.8%
新素材	10.5%
快適空間	9.6%
資源・エネルギー	7.8%
未来移動体	7.2%
地球開発	6.6%
ライフサイクル	5.6%
社会インフラ	3.1%
その他	4.3%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 KADOKAWA	生活ソリューション	IP創出力とIT技術力に支えられ、変化を恐れず挑戦し続ける	3.8%
2 エーザイ	ウェルネス	患者家族まで心を配る徹底したステークホルダー経営	3.8%
3 カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.7%
4 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.7%
5 デンソー	未来移動体	自動車市場拡大の恩恵を受ける	3.7%
6 ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	3.5%
7 ホンダ	未来移動体	夢と技術で、難局をチャンスに変える	3.5%
8 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.5%
9 ヤマトHD	生活ソリューション	「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ	3.5%
10 SMC	精密テクノロジー	工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップ	3.4%

※2021年6月30日時点

※「ポートフォリオ別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。

※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

6月のファンドの月間リターンは3.57%の上昇となりました。

◎運用責任者メッセージ

6月の内外株式市場は、米国や欧州で行動規制が緩和されてきたことが好感され、米国ではS&P500、ナスダック指数、欧州ではドイツ、スイスの株価指数が史上最高値を更新しました。一方で、英国はじめコロナウィルスのデルタ株の感染拡大への警戒感や米国の金融政策の正常化が意識され始めたことが株式市場の重石となっています。国内株式市場は、ワクチン接種の進展を好感する局面もありましたが、世界的には日本株の出遅れが顕著な状況が続いています。そんな中、トヨタ自動車株が1万円の大台を超え上場来高値を更新したことは印象的でした。

当ファンドは、今月も運用開始以来の最高値を更新することが出来ました。月間では+3.57%の上昇、投資先31銘柄中20銘柄が値上がり、11銘柄が値下がりとなりました。

同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+1.19%の上昇、日経平均株価は▲0.24%の下落でした。当ファンドの株式の組入比率は、95.7%と前月比では▲3.4%の減少となりました。個別銘柄の月間騰落率ではエーザイが+48.48%の上昇、シスメックス、味の素、セブン&アイHD、日立製作所（上昇率順）の5銘柄が10%を超える上昇となりました。上場来高値を更新した銘柄はエーザイ、デンソー、KADOKAWA（銘柄コード順）の3銘柄でした。当ファンドの運用開始以来、投資期間が13年目となるエーザイが、米国バイオジェン社と共同で開発に取り組んでいたアルツハイマー病の治療薬が米国で承認されたことは、株価を大きく押し上げました。

さて、国内でのワクチン接種の加速は、秋以降の景気回復を後押しすると考えています。秋には追加経済対策の成立とともに衆議院の解散総選挙が予想されています。デルタ株など、まだ予断を許しません。秋以降の業績相場を当ファンドはしっかりと捉えていけると思います。引き続き、どうぞご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◆2021年6月次運用報告動画もぜひご覧ください！

2021年6月次運用報告動画

<https://youtu.be/UGsBiqZge0Y>



投資委員会メンバー

○伊井哲朗、渋谷健、上野武昭、末山仁、原嶋亮介/○は最高運用責任者

※組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

なし



今月のピック！

◎ (4523) エーザイ

6月はエーザイの株価が48.48%上昇しました。

6月7日に、米バイオジェン社と共同開発を進めているアルツハイマー型認知症治療薬「アデュカヌマブ」が米国食品医薬品局（FDA）から、脳内の有害なタンパク質であるアミロイドβを減少させる効果があるとして承認申請が認められたことから、株価は2日連続のストップ高となりました。

「アデュカヌマブ」は、認知機能の低下を抑制する機能を持つ治療薬としては世界で初めての承認となりました。

2020年11月には、FDAの外部専門家による諮問委員会において「アデュカヌマブ」の有効性に全員が反対を唱えるという否定的な見解が出ていたことから、承認の可否は不透明な状況でしたが、2030年2月までに臨床的有用性の確認のために検証試験の最終結果を報告するという条件付きで承認されることになりました。

エーザイでは、今回の「アデュカヌマブ」の他にも、アルツハイマー型認知症治療薬の開発が着々と進んでいますので、そちらの方にも注目して参ります。

シニア・アナリスト 末山 仁

◎ (7267) ホンダ

今年の4月1日付で代表取締役社長に三部敏宏さんが就任しました。6年ぶりの社長交代となります。

1987年にホンダに入社、その後、エンジン開発を中心に四輪車の研究開発に従事してきました。ホンダは高いブランド力は持っていますが、株式市場の懸念として、自動車業界が脱炭素社会に向けて大きく変化するなかであって、戦略の発信が少ないことでした。

戦略をわかりやすい言葉で発信することは、社内が一つの目標に向かって進むこと、そして、社外にとっても中長期的な安心感につながります。社長就任後からとりかかっていることの 하나가コミュニケーションの強化です。

各本部のマネジメント間のコミュニケーションの強化に加え、戦略を対外的に発信する、IR（インベスター・リレーションズ）、広報、サステナビリティなどの部署間での統合的な議論の活発化です。

なお、4月下旬の社長就任会見で、四輪車事業では2040年にはEV（電気自動車）、FCV（燃料電池自動車）の販売比率をグローバルで100%にすることを打ち出しています。

シニア・アナリスト 上野 武昭

◎ (3407) 旭化成

旭化成が先に発表した2021年3月期決算は、売上高が前年対比で2.1%減、営業利益が3.1%減でした。年度の前半、自動車関連の事業などが苦しい時期がありましたが、住宅事業が比較的堅調に推移したこと、ヘルスケア事業では米国における人工呼吸器の急激な需要増があったこと、などによってそのダメージを最小限に抑えることができたという印象です。

同社の事業内容は多岐に渡りますが、事業ポートフォリオを常に磨き続ける姿勢がこの業績にもつながったと考えています。

それに加えて、5月に開催された経営説明会では、事業ポートフォリオ転換をさらに強力に進める考えを示しました。

これまでは収益性や成長性という観点で評価していたところ、それに加えて資本効率などで追加評価を行うということで、これにより評価対象となる60事業のうち15事業が「戦略再構築」という位置付けとなっていますので、その取り組みの進捗にも注目していきたいと思えます。

アナリスト 原嶋 亮介



企業との対話

5月31日、投資先企業クボタをお招きして、コモンズ30塾を開催しました。

クボタはコモンズ30ファンドの最初からの投資先になりますので、投資期間も13年目、この間株価の上昇は約5倍となっています。

クボタとの対話～コモンズ30塾～動画



長期投資を考えたとき、社会的な課題でもあり人類にとっても大きなテーマとして「食」がありました。当時世界の人口は70億人に達する直前でしたが2050年くらいには100億人程度に膨れあがる。食は大きなテーマであり、食の問題は農業の問題でもあります。

クボタは農機具メーカーとして、優れた技術力を持っていました。

農業従事者にヒアリングをしても評価は高く（ブランド力を評価）、また、中国などアジアでは、耐久性も評価されていました（グローバル経営の推進を評価）。

また、企業文化として、1890年に19歳でクボタを創業した久保田権四郎氏は、日本で初めて水道管の国産化や農業の機械化を実現しました。

当時から社会課題を解決し社会に貢献することを実践され、今も続いています。

こうした背景などから「食料・水・環境」の分野で、長期的に企業価値を高めていけると判断しての投資のスタートでした。

そして今年2月、同社は2030年に向けた長期ビジョン「GMB（グローバルメガブランド）2030」を策定。豊かな社会と自然の循環にコミットする「命を支えるプラットフォーム」を目指して事業展開を進めています。

食の生産や安全性を高める、水資源や廃棄物の循環を促す、都市や生活環境を向上させる、といった内容です。

その中でも長期ビジョン実現に向けた動きとして注目されるのが、最近、積極化しているスタートアップ企業などとの提携です。

農業分野では世界的に担い手が減っていき、ドローンによる作物の画像認識を含むスマート農業といった、より効率的な農業も求められています。

そこで、スタートアップや異業種を含めた企業に出資する形で、種々のビジネスパートナーとエコシステムを構築し、その中心にクボタが立ち、命を支えるプラットフォームとしてトータルソリューションを提供する会社になっていく将来像を描いています。

イベント当日、2030年に向けてクボタが目指す地平はどこなのかなどについて、総務部 株式課 課長 中俊尚さまと経営企画部 IR課 課長 中林輝彦さまにお話しを伺いました。

左上からクボタ中さま、右上中林さま

130年にも及ぶ社歴のなかでは、成長につながった局面、苦境に直面した局面など、さまざまなターニングポイントが今のクボタにどのように生きているのか、などをお伺いしました。常にその時々々の社会課題を解決することによって課題を解決してきた、だからこそ、次の100年も「命を支えるプラットフォーム」として地球にとってなくてはならない存在を目指す、というお話がとても印象的でした。



対談の記事もぜひこちらよりお読みください。

<https://www.common30.jp/contents/dialogue/2142/>

マーケティング部 福本 美帆



コモンズSEEDCapからのお知らせ

【第12回コモンズSEEDCap応援先決定】

この度、「一人ひとりの未来を信じる力を合わせて次の時代を共に拓く」という理念に基づく寄付プログラム、コモンズ SEEDCap（社会起業家応援プログラム）の第12回応援先はNPO 法人チャイボラ 大山 遥さんに決定し、140 万円を寄付することといたしました。

チャイボラ <https://chaibora.org/>

NPO法人チャイボラ大山遥さん



推薦の声をお届けいただくなど、お仲間（ファンド受益者）のみなさまには応援先選定にご協力いただき、誠にありがとうございました。

新しい視点からの取り組みの新鮮さや現場の声に真摯に耳を傾ける大山さんの姿勢に共鳴したお仲間が今回多くいた中で、実際には理解が難しいこどもたちをとり巻く環境について、大山さんたちの活動を通して、コモンズのお仲間たち、社員に教えて欲しいことがたくさんあります。大山さんたちの活動と共に、より良い未来に向かって歩みを進めていきたいと思えます。

ニュースリリース

<https://www.common30.jp/files/uploads/202106/NewsRelease%2012th%20SEEDCap.pdf>

ぜひこちらのブログもご覧ください。

<https://park.common30.jp/2021/06/12-seedcap.html>

ソーシャル・エンゲージメント・リーダー 馬越 裕子



お客さまからの声

セミナーにご参加いただいたお客さまからいただいたお声をご紹介します。

コモンズ投信運用説明会「見えない価値とESG」

アナリストの視点による解説が、リアリティがあり良かったです（50代・女性）
ESGは最初は抽象的かと思ったのですが、中身は具体的なもので、理解が深まりました（60代・男性）

伊井さん、何でも聞いていいですか？

視聴者からの質問にしっかり回答をくれたところは改めて好感が持てました（40代・男性）

ジュニアNISAとこどもトラスト

なんとなくで貯蓄をしてきましたが、目的をもって積立をすることが大切なんだな、と実感しました。
（30代・女性）



お知らせ

Pick Up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「[セミナー情報](#)」をご覧ください。

<https://www.common30.jp/seminar/>

◆2021年6月次運用報告動画もぜひご覧ください！

<https://youtu.be/UGsBiqZge0Y>

7月もオンラインで様々なセミナーを開催いたします。ぜひお気軽にご参加ください！

□【オンライン】運用報告会
7月23日(祝・金) 13:30～14:45

□こどもトラストセミナーおかねの教室
～投資ってなんだろう？～
7月27日(火) 9:00～10:00/17:00～18:00

□【オンライン】教えて！健さん！第五弾「地域金融の可能性、どう思いますか？」
～今回の聞き手:寺西康博さん(テラロック主宰 国家公務員)～
7月9日(金) 20:00～21:00

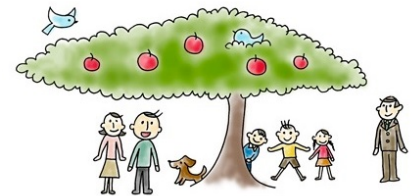
□積立投資とコモンズのファンド
7月14日(水) 20:00～20:30

□ジュニアNISAとこどもトラスト
7月16日(金) 10:00～10:30

□NISA制度の活用方法
7月20日(火) 20:00～20:30

※詳細はコモンズ投信のウェブサイトにてご確認ください。

☆アーカイブ動画をYouTube「[COMMONSTV](#)」にて配信しております。
ぜひ、チャンネル登録をお願いいたします！☆



教えて！健さん！
第五弾
「地域金融の可能性、
どう思いますか？」
～市長選挙が報じられた東京で活躍するメンバーと対談～
～今回の聞き手:寺西康博さん
(テラロック主宰 国家公務員)～
コモンズ投信主催 オンラインイベント





販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
ソニー銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第578号	○	○		○
PWM日本証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第50号	○			○
楽天証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	○
株式会社SBI証券※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第44号	○	○		○
株式会社秋田銀行※1	登録金融機関 東北財務局長 (登金) 第2号	○			
株式会社足利銀行	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第43号	○	○		
株式会社栃木銀行※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第57号	○			
株式会社横浜銀行※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第36号	○	○		
株式会社イオン銀行※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第633号	○			
株式会社北海道銀行※1	登録金融機関 北海道財務局長 (登金) 第1号	○	○		
エース証券株式会社※1	金融商品取引業者 近畿財務局長 (金商) 第6号	○			
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第52号	○	○	○	
株式会社静岡銀行※1	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第5号	○	○		
静銀ティール証券株式会社※2	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第10号	○			
株式会社福岡銀行※2	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第7号	○	○		
株式会社熊本銀行※2	登録金融機関 九州財務支局長 (登金) 第6号	○			
株式会社十八親和銀行※2	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金) 第3号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関 東海財務支局長 (登金) 第10号	○	○		
松井証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第164号	○	○		

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社※2	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商)第142号	○	○	○	○
浜銀TT証券株式会社※2	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商)第1977号	○			
FFG証券株式会社※2	金融商品取引業者 福岡財務支局長 (金商)第5号	○			
株式会社京葉銀行※2	登録金融機関 関東財務局長 (登金)第56号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関 東海財務局長 (登金)第7号	○	○		
株式会社鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長 (登金)第3号	○			
tsumiki証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商)第3071号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商)第134号	○			
auカブコム証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商)第61号	○	○	○	
PayPay銀行株式会社※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金)第624号	○	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金)第6号	○	○		
株式会社七十七銀行※2	登録金融機関 東北財務局長 (登金)第5号	○	○		
株式会社伊予銀行※2	登録金融機関 四国財務局長 (登金)第2号	○	○		
四国アライアンス証券株式会社※2	金融商品取引業者 四国財務局長 (金商)第21号	○			
京都信用金庫	登録金融機関 近畿財務支局長 (登金)第52号	○			
株式会社佐賀銀行	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金)第1号	○	○		
LINE証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商)第3144号	○			
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関 関東財務局長 (登金)第41号	○			
SMB C日興証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社大垣共立銀行※2	登録金融機関 東海財務局長 (登金)第3号	○	○		
OKB証券株式会社※1	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商)第191号	○			

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



コモンズ30ファンドのリスクについて

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくごお願い申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといえます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



コモンズ30ファンドの費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	(コモンズ投信の場合) ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3% (消費税込) が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年税込1.078% (税抜0.98%) を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11% (消費税込) を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2009年1月19日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日



ご注意事項

- ◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。
- ◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先
■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）
03-3221-8730
■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>